

事業所名

ここあ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

10日

法人（事業所）理念	安全、安心してご利用いただけるよう、お子様一人ひとりに対して丁寧な支援をモットーに努めております。		
支援方針	遊びや体験を通して、様々な経験ができ一人ひとりの子どもの特性や課題を見つめ、子ども達にとって何がベストなのかを考えながら、保護者様や関係機関と連携を密に行いより良い環境を提供いたします。また楽しいと感じることを経験し、子どもの笑顔を引き出していきます。		
営業時間	10時	0分	16時0分まで
	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	バイタルチェック、健康管理、必要に応じ専門職員が医療ケアを行います。身辺自立（靴の用意、脱着、手洗い、荷物管理など）子どもに合わせて実施し、習慣化できるよう支援しています。食事、排泄、集団、個別活動など見通しを立て、不安なく1日を過ごし生活リズムを身につけています。	
	運動・感覚	触覚（手、足湯、氷、寒天、麺類、砂、伸びるなど）、視覚、聴覚の感覚を刺激した療育を提供しています。外遊びや体操、軽運動などでは機能訓練士が中心となり、楽しく身体を動かす事で運動機能向上を図ります。微細運動（掴む、つまむ、引っ張る、はめる、通す、貼る、こする、描く、切るなど）に関する療育を実施します。姿勢、歩行、側弯を機能訓練士によりチェックを行い機能訓練計画書に沿って個別トレーニングを実施。	
	認知・行動	子どもの特性、能力を理解し、様々な感覚を刺激して興味の幅を広げる支援を行います。	
	言語コミュニケーション	子どもの特性に応じ課題を設定し、コミュニケーションの向上を図ります。自分の思いや要求を表情や絵カード、マカトン、サインなど様々なコミュニケーションの手段で伝えられるように支援しています。	
	人間関係社会性	集団活動へ参加し、待つことや順番を守ること、お友だちと協力することなど社会性を身につけます。また、お友達や職員と信頼関係を構築し楽しいと感じることを増やし、笑顔を引き出しています。	
家族支援	家庭でのお困り事に対するサポート。子どもの発達や医療ケアに関する相談。定期的な個人懇談の実施。年2回モニタリングの実施。	移行支援	学校、関係機関との連携
地域支援・地域連携	近隣スーパー、ダイソーへお買い物支援	職員の質の向上	定期的な内部、外部研修、医療ケア児、医療機器（呼吸器など）勉強会各委員会設置、個別面談にて自己評価、毎日のミーティングによる情報共有。
主な行事等	毎週の療育テーマに沿った療育。年3回の避難訓練（火災時、災害時）野外活動（お散歩、お花見、初詣、お買い物支援、電車体験、地域の体験学習など）春（園芸、子どもの日）、夏（水遊び、プール、夏祭り、縁日）、秋（味覚祭り、芋ほり、ハロウィン、運動会）、冬（クリスマス会、大掃除、忘年会）食育（昼良作り）		